

南相馬市授業改善プランⅢ

南相馬市では授業改善プランをもとに、平成27年度から5年計画で授業改善に取り組んでいます。この冊子では、全国学力・学習状況調査の諸データの分析をもとに、これまでの取り組みの成果と課題について振り返るとともに、今後の取り組み方についてまとめました。

授業改善プランイメージ図

目標

基礎・基本の定着と活用力の向上

～全国トップクラスの学力を目指して～

各校における「9つの課題」の
改善に向けた取り組みの充実

授業実践力の向上

平成31年度

Action

平成30年度

Check

平成29年度

Do

平成28年度

Plan

H.27～29年
学習指導改善検討委員会
授業改善に向けた検討

H.27年～
先進地視察研修の実施
(秋田県由利本荘市)

- 「南相馬の授業スタイル」に基づく授業改善
 - ・小・中学校で一貫した学習スタイルの確立
 - ・ワークショップ型授業研究会の実施
- 全国学力・学習状況調査結果の分析と活用
 - ・各校で「指導改善の重点」を作成
- 市研究支援事業の活用
 - ・市指導委員による活用力向上モデル授業
 - ・スーパーティーチャー活用事業
 - ・授業カウンセリング
 - ・秋田県由利本荘市との教員交流研修事業
 - ・市教育研究会（中学校ブロック研修会）

南相馬の授業スタイル



市の課題をもとに選択・集中！

県教委「授業スタンダード」



＜平成27年度＞授業改善プラン策定

「南相馬市9つの課題」の提示

～全国学力・学習状況調査結果を学力先進県と比較、分析により設定～

- 活発な発言を促すため、発表する場の意図的な設定
- 話し合い・学び合いを通じ、児童生徒相互に啓発するような授業の設定
- 目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動の指導
- 根拠を明確にして書く学習活動の重点的指導
- ノート指導の工夫
- 板書が果たす役割の重視と工夫
- 適用とまとめの時間の確保
- 計画的な家庭学習の習慣化
- 読書活動の推進



Q.1 南相馬市は、どのような授業を目指していますか？

A. これまでに引き続いて、次の授業像を目指して取り組みます。

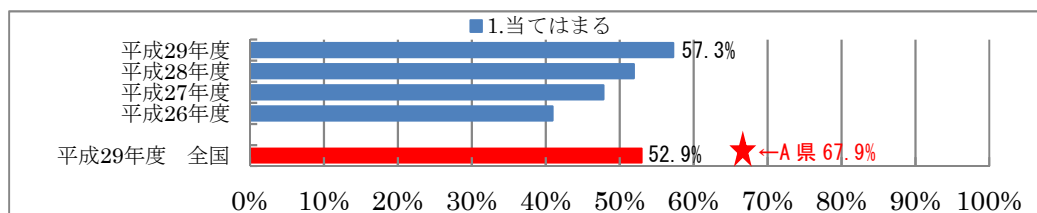
授業の中に **考える・話す・書く** 活動を多く取り入れることで、**子どもたちが主役の授業**を行います。こうした授業を通して子どもたちの**思考力・判断力・表現力**を育てます。また、教えることはきっちりと教える授業、電子黒板等のICT機器を使った分かりやすい授業を行います。



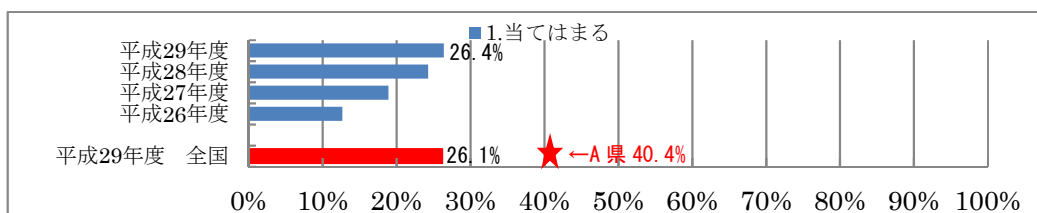
Q.2 先生方の授業改善は進んでいますか？

A. 次の「9つの課題」に関する全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問紙調査）の結果からは、授業改善の成果を見て取ることができます。

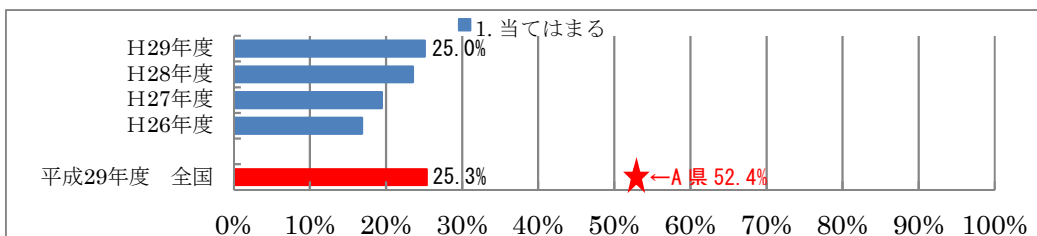
5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか（小学校）



授業（国語）で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか（小学校）



1, 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか（中学校）



平成29年度の調査では、これらの他にも多くの項目で全国の水準まで高まりが見られました。これらは、**先生方の授業改善の成果**であると考えています。しかし、A県など全国上位の自治体はさらに高い水準にあります。南相馬市でもこれに満足せず、今後一層指導を充実させていきましょう。



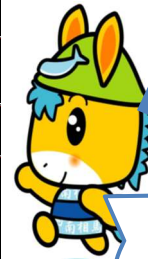
Q.3 これまでの取り組みの課題は何ですか？

A. 全国学力・学習状況調査結果からは、これまでの取り組みの様々な課題も見えてきました。

1 「9つの課題」に関する調査項目を小・中学校で比較すると…

平成29年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査から「当てはまる」の％を全国と比較

◎ 全 ○ お ▲ 全		小学校	中学校	
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	○	▲	国平均正答率を上回る（＋5％を超える）
	5年生（中2年生）までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	○	▲	おむね全国平均である（±5％以内）
	5年生（中2年生）までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	○	▲	国平均正答率を下回る（－5％を超える）
	5年生（中2年生）までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	○	○	
	5年生（中2年生）までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	◎	◎	
	読書は好きですか	○	○	
	授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	○	○	
	授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	○	▲	

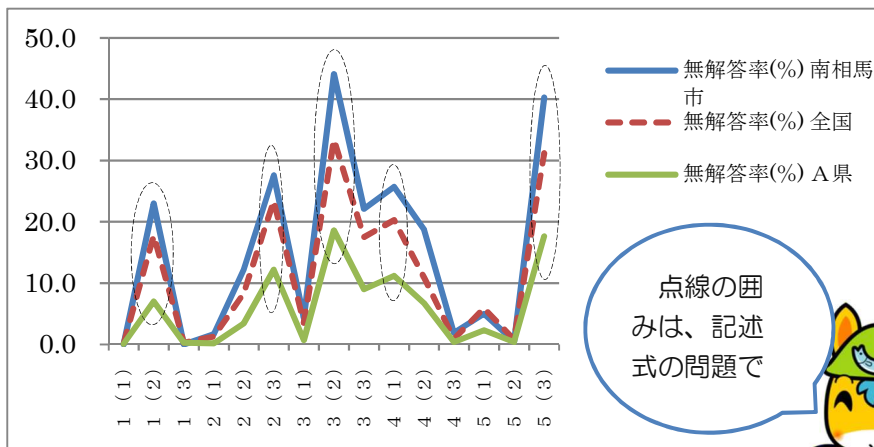


課題1：小学校と中学校で授業スタイルに大きな差が見られます。

平成31年度には、この項目をすべて◎にするのが目標です！

2 中学校B問題の無答率を見ると…

平成29年度中学校B問題・数学の無答率

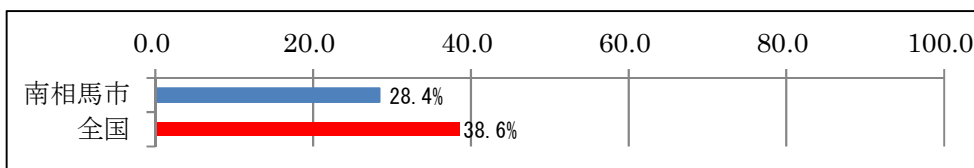


課題2：記述式の問題で無答率が高く、全国等と大きな差になっています。

3 児童・生徒の質問紙調査を見ると…

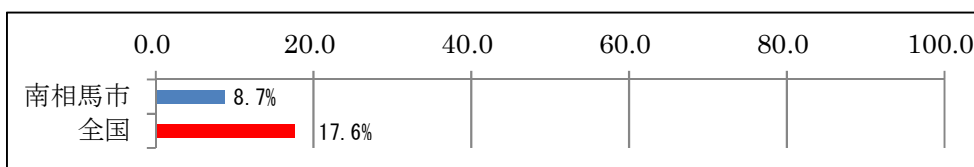
平成29年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査から「当てはまる」の％を全国と比較

小学校質問紙調査「自分には、よいところがあると思いますか（全国比－10.2％）」



→「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」（全国比＋13.0％）

中学校質問紙調査「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか（全国比－8.9％）」



課題3：南相馬の子どもたちは、全国と比べて「自信のない子」が多いようです。

Q.4 今後の授業改善のポイントは何か？

A. これまでの取り組みの課題を受けて、次の3点について重点的に取り組むことが大切です。

①小・中学校が連携した9つの課題への取り組み

「南相馬の授業スタイル」をもとに、小・中学校でつながりのある指導をしましょう

②書く意欲、書く力を育てる取り組み

話し合い等を通して「わかったこと・考えたこと」を、必ず書かせる指導をしましょう

③自尊感情を育てる取り組み

「褒める・認める・ねぎらう」ことを通して、子どもの自信を育てる指導をしましょう

Q.5 市ではどのような研修支援を行っていますか？

A. 市教育委員会では、下の授業改善プラン・実行スケジュールに沿って研修支援を行っています。平成30年度からはこれまでのインプットを中心とした「見る研修」に加えて、アウトプットを中心とした先生方の実践力を高める「やる研修」への支援策を増やし、先生方の授業改善をサポートしていきます。

授業改善プラン・実行スケジュール（5年計画）

H. 27～29 年度（3年間）INPUT 期間
先進地視察研修・スーパーティーチャー招へい事業
・学習指導改善検討委員会等 研修の強化

H. 30～31 年度（2年間）OUTPUT 期間
指導員によるモデル授業・授業カウンセリング等による実践力の強化

南相馬市教育委員会の研修支援策

市指導委員による
活用力向上モデル授業

市の指導委員が各学校で「南相馬の授業スタイル」を基にしたモデル授業を行います。授業に合わせてワークショップ型の事前検討会・事後協議会を行い、市指導主事が指導助言を行います。

スーパーティーチャー
活用事業

高い指導力を有する教員（スーパーティーチャー）等を小・中学校に招へいし、講演や指導助言を通して教職員の指導力向上に取り組んでいます。

授業カウンセリング

授業学研究所のエキスパート講師が授業を参観し、VTR等を活用しながらよりよい指導の仕方について具体的なアドバイスをを行います。

秋田県由利本荘市との
教員交流研修事業

本市小・中学校と教育先進地である秋田県由利本荘市にある小・中学校の教員を一定期間派遣交換し、交流研修を行います。研修後は、派遣教員が本市の教員を対象に交流の成果を発表する報告会・授業研究会を行います。

市教育研究会との連携

中学校ブロック授業研修会・教科別研修会等の市教研事業との連携を図り、小・中学校の先生が一緒に研修する機会の充実を図ります。

これらの支援策を各小・中学校の実態に合わせて活用し、全校を挙げて全教員で「9つの課題」の改善に取り組みましょう。

全学年・全教科・全教員…みんなで力を合わせて
南相馬の授業スタイルを作り上げましょう。

子どもたちの未来のために！

